

ニホンジカ生息状況調査仕様書

1 業務の名称

令和7年度ニホンジカ生息状況調査業務委託

2 業務の目的

本業務は、ニホンジカ（以下、「シカ」という。）の生息状況を明らかにすることにより、シカ個体群の適正な保護管理及び農林業被害の抑制を図るために作成する「特定鳥獣保護管理計画」の基礎資料を得ることを目的とする。

3 業務の概要

県内におけるシカの個体数推定に向けて、概ね以下のとおり業務を実施すること。

(1) 本業務における計画設計

本業務で予定している業務内容（調査箇所の選定、日程等）について計画を定め、県に共有すること。

(2) 調査地点の下見等

ア シカの調査地点については、安全かつ正確にシカを調査できるよう十分に現地を下見すること。

イ 土地の立ち入り等

- ・ 受託者は業務を実施するため、国有地、公有地に立入る場合は、委託者及び関係者と十分な協調を保ち業務が円滑に進捗するよう努めなければならない。なお、やむを得ない理由により現地への立入りが不可能となった場合には、ただちに委託者に報告し、指示を受けなければならない。
- ・ 受託者は、第三者の土地への立入りについて、当該土地所有者への許可は受託者が得るものとするが、委託者はこれに協力しなければならない。

ウ 地元関係者との交渉等

受託者は、業務の実施に当たっては、地元関係者からの質問、疑義に関する説明等を求められた場合は、委託者の承諾を得てから行うものとし、地元関係者との間に紛争が生じないよう努めなければならない。

(3) 追い出し調査

調査区域内のシカを追い出し、その目撃個体数をカウントする。

ア 調査は、委託者から指定された調査区域について1か所あたり調査員5人（勢子）、ドローン2台（操縦者及び補助者2人ずつ）を基本とするが、その割合は現場に応じて適宜変更可能とする。）による調査班を構成し、その中から責任者1人を選定した上で実施する。

イ 責任者は、事前にドローンの位置を確認し、追い出されたシカの見逃しがないよう努めなければならない。また、追出しに当たっては、調査者同士が密に連絡をとれる

体制を構築し、効果的な追出しに努めなければならない。

ウ 調査の実施に当たり、調査員は、担当する調査区域について調査内容に従い、追出し個体の重複カウントを避けるよう観察を行い、その結果を「令和7年度ニホンジカ生息状況調査記録表（様式1号）（以下「記録表」という。）に記載する。

エ 責任者は、各調査員から記録表を回収し、「令和7年度ニホンジカ生息状況調査集計表」を作成する。

オ 調査者は、各責任者から集計表等の提出を受けた後は、「令和7年度ニホンジカ生息状況調査結果一覧表」に取りまとめのうえ、自然保護課に提出する。

(4) 業務の場所

県内8箇所(別添参照)

4 責任者の配置

業務の履行に際しては、責任者を設置することとし、責任者は現に農林水産省が登録する「農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー」又は、環境省が登録する「鳥獣保護管理プランナー」又は「鳥獣保護管理調査コーディネーター」として登録されている者であり、入札参加申請時点で当該法人に所属している者であること。

5 報告書の作成

- (1) 電子媒体（CD-ROM）1部
- (2) 紙媒体 1部

6 その他

- (1) 本業務実施に当たっては、労働関係法令等の諸法令を遵守すること。
- (2) この仕様書に記載がない事項については、必要に応じて発注者と受注者間の協議により定めるものとする。
- (3) 現地の下見、出回りの際には、安全に実施できるよう体制を整えておくこと。

シカ生息密度記録表

調 査 者 氏 名	
勢子・立ちの別	勢子 番 ・ 立ち(ドローン) 番 (どちらかを記入)
調 査 年 月 日	令和 年 月 日
調 査 時 間	開始 (時 分) ～ 終了 (時 分)

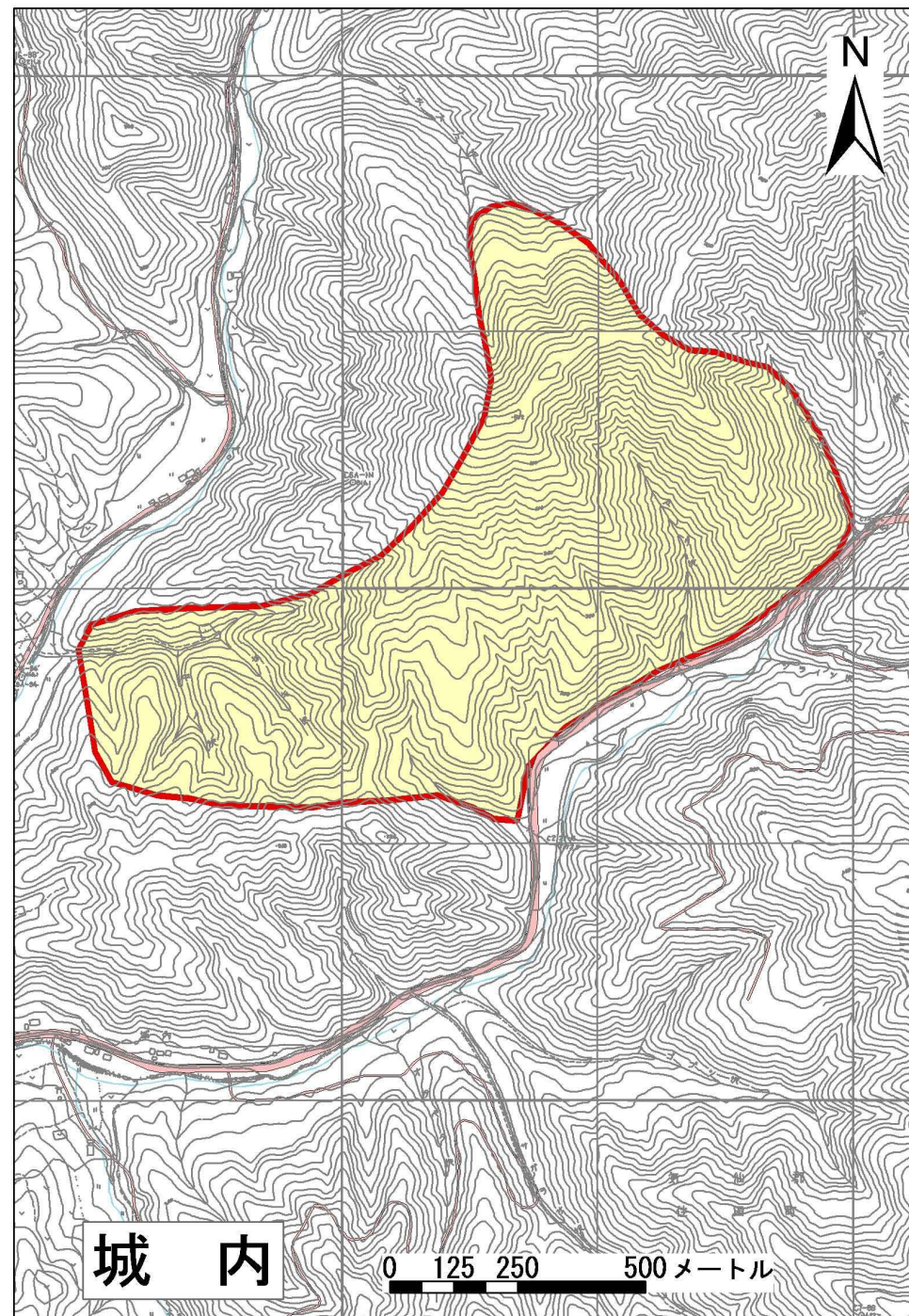
※ 《記入方法》

- シカを発見したら地図の発見場所へ移動方向 → と番号を記入する。
- 次にメモ欄にその番号と発見した時刻、シカの頭数、性別を記入する。

メモ欄 (例：① 10：15 オス2 メス1)

This image shows a blank sheet of white paper designed for handwriting practice. It features two vertical columns of horizontal dashed lines. Each column contains ten rows of lines, providing a guide for letter height and placement. The lines are evenly spaced and extend across the width of each respective column.

＜記載例＞



令和7年度ニホンジカ生息状況調査結果一覧表

【（事業者名）】

整理 番号	市町村	調査区名	調査区域 の面積	植 生		標 高	目撃結果			生息痕跡発見状況	摘 要
				樹種の割合	樹 種		調査日	頭数	人員		
			ha	広葉樹 % 針葉樹 %	① ② ③	m ~ m	月 日	頭	人		
			ha	広葉樹 % 針葉樹 %	① ② ③	m ~ m	月 日	頭	人		
			ha	広葉樹 % 針葉樹 %	① ② ③	m ~ m	月 日	頭	人		
			ha	広葉樹 % 針葉樹 %	① ② ③	m ~ m	月 日	頭	人		
			ha	広葉樹 % 針葉樹 %	① ② ③	m ~ m	月 日	頭	人		

記入上の注意

1 この一覧表は、令和7年度ニホンジカ生息状況調査記録表（様式1号）が調査員から提出があった場合、事業者がとりまとめるものである。

2 取りまとめの際に調査票の記入に不備があった場合は、担当調査員に確認のうえ、必要事項をとりまとめること。

3 整理番号欄には、1番から連番で記入すること。